



兵庫県立 いえしま自然体験センター

兵庫県姫路市家島町西島（〒672-0100）

TEL：079-327-1508/1509

（施設利用案内は 8:30～16:45 まで、

宿直による対応は 21:00 まで）

FAX：079-327-1461

URL：<http://www.shizen-ieshima.com/>

E-mail：s-ieshima@seishonen.or.jp

目次

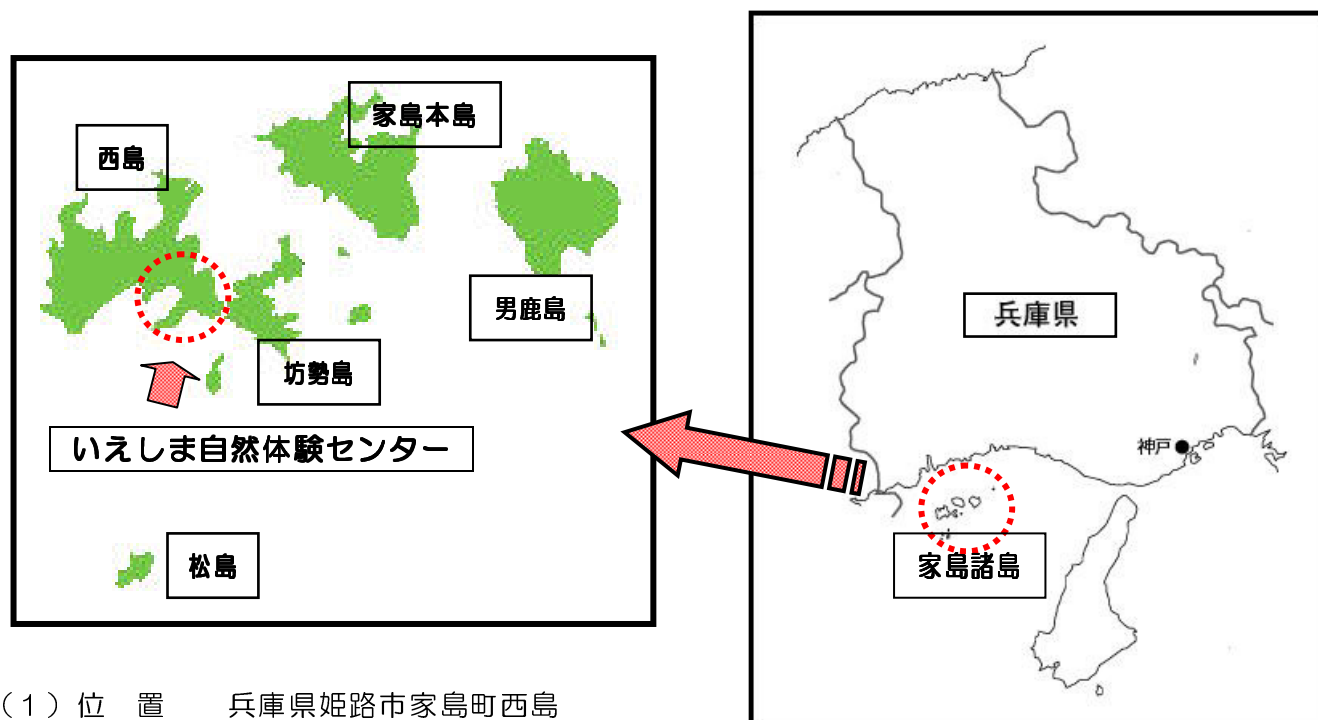
目次	1
A. 施設の概要	2
(1)成り立ち (2)教育目標 (3) 注意事項	
B. センター利用申し込み及び手順について.....	3
■利用申し込みの手順	
・利用の予約 ・仮受付 ・仮受付票をセンターへ送付	
・下見の予約 ・下見時に必要となる書類をセンターへ郵送	
・下見 ・各種書類の提出 ・入島日 ・滞在中 ・離島(退所)日	
C. 効果的にプログラムを作成するために.....	12
①食事	②入浴
③寝具の準備と片付け	④ゴミ処理について
⑤清掃	⑥宿泊施設の設備・備品と料金
⑦キャンプファイヤー	
⑨活動の様子のホームページ(HP)への掲載について	
D. 施設について	24
(1)いえしま自然体験センター全体図	
(2)中央地区平面図	
(3)各ロッジ内の平面図	
E. いえしま自然体験センターへの交通案内	27
(1)姫路港～いえしま自然体験センターへの行き方	
(2)時刻表 (3)運賃について (4)船便のご利用について注意	
(5)姫路港付近の駐車関係略図	
F. 健康・安全について	29
(1)いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル	
(2)救急医療関連連絡先一覧	
(3)地震・津波発生時の避難マニュアル	

A. 施設の概要

(1) 成り立ち

昭和54年の国連の国際児童年を記念して、南北を海に面する兵庫県の特性を生かし、瀬戸内海国立公園内の家島諸島のここ西島に、自然の中で親と子が心身ともに健やかに育ち、すべての生命の母である海と人が出会う場として、野外活動施設「兵庫県立母と子の島」が建設されました。

開設以来25年を経過した施設のリニューアルを機会に、「環境学習センター」等を新設し、「海の環境学習の拠点」としての機能を強化しました。小・中学生、高校生、大学生の環境学習・自然体験活動のフィールドとして、社会人の実践研修の場として、また幼児期から家族一緒に楽しむ施設として生まれ変わり、平成19年4月に現在の名称である「いえしま自然体験センター」と改めました。



(1) 位置 兵庫県姫路市家島町西島

(2) 敷地 借地（坊勢財産区より）1,007,027 m²
県有地 8,687 m²
計 1,015,714 m² 【約102ha】
※甲子園球場のグラウンド78個分の広さに相当

(2) 教育目標

- ① 自然界のさまざまな生き物との関わりを通して、生命を大切にする心を育む
- ② 豊かな自然との触れ合いを通して、自然や自然の美しさに感動する素直で柔らかな心を涵養する
- ③ 仲間との活動などを通して、規範意識や他人を思いやる心、自己抑制力を身につける
- ④ 集団生活やグループ活動を通して、我慢する心（耐性）、自立心を養う
- ⑤ 厳しい自然環境での活動を通して、健やかな身体と物事を着実にやり抜く意思・主体性などを育む

(3) 注意事項

- ① 施設、設備及び備品は大勢の人が利用するものですから、大切に扱ってください。
万一、故意若しくは重過失により損傷した場合は損害賠償していただくことがあります。
- ② 利用後は会場(場所)や設備、備品の整理、整頓や清掃を丁寧に行うようにしてください。
- ③ 使い終えた備品は必ず元の場所に戻すようにしてください。

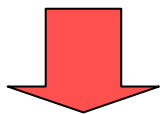
B. センターの利用申し込み及び手続きの手順

■【利用申し込みの手順】

利用の予約	電話にてご予約ください(079-327-1508 / 1509) <table border="1" data-bbox="564 383 1441 519"><tr><td>小学校(自然学校)</td><td>受付開始は2年前から(年度で)</td></tr><tr><td>中学校・その他の団体</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr><tr><td>日帰り利用</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr></table> □希望する利用予定日(期間)、利用目的、利用人数等をお知らせ下さい。 ※正式な日程が決まった後にご連絡下さい ※活動内容が重なった場合、宿泊団体の活動を優先します	小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)	中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)	日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)
小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)						
中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)						
日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)						
仮受付	電話受付後、書類をダウンロードしてください。 □電話受付後、以下の①～③の資料・用紙を「いえしま自然体験センターホームページ」よりダウンロードしてください。 ①「センター利用仮受付票」…1枚 ②「下見打ち合わせ表」…2枚 ③「学校利用の手引き・申請書類関係」※下見時にご持参ください。						
仮受付票を センターへ送付	ダウンロード後、書類を確認、記入、送付 □記入した書類のうち、①センター利用仮受付票をすみやかにFAXでセンターへお送りください。 FAX (079-327-1461)						
下見の予約	実施前にセンターを訪問して下見を行うようにしてください。 ■HPから学校利用の手引きをDLし、下見の準備をしてください。 □下見の予定日と船便の時刻を決めて、センターへご連絡ください。 ①下見の日程の候補を2～3日に絞り、ご相談ください。 ※夏休み中は原則として下見はできません。 ②下見の日の船便の往復の時刻をお知らせください。 ○下見は活動計画の確認、施設や活動場所の下見、確認を行います。 【重要】 島の特性上、担当者が平日に欠勤していることもあります。 また、船便の関係から8:30～16:45の間が比較的時間のゆとりがあります。担当者と直接お話になりたい場合には上記の内容を参考にしてください。						

(約2ヶ月前～)

下見時に必要となる
書類をセンターへ郵送



下見の3日前までに「下見打ち合わせ表」がセンターに届くように郵送してください。 原本を下見の当日に必ずご持参ください。

【郵送先】

〒672-0100

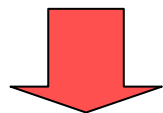
兵庫県姫路市家島町西島 いえしま自然体験センター
自然学校担当者 宛

FAX (079-327-1461)

○下見予定日、予定日の船便等の急な変更が必要な場合、必ずセンターへ連絡してください。

※各船会社への船便申し込みは、センターから船会社に直接、乗船する船便、学校名、人数等の報告を行っています。

下見



□姫路港まで時間の余裕をもって出発してください。

□**当日、やむを得ない事情により、予定する船に乗船できなくなった(乗船できそうにない)場合は、ただちにセンターへご連絡ください。**

□乗船場所は『学校利用の手引き』のP31の「姫路港周辺地図」をご参照ください。

□往復の船会社が同じ場合には往復切符をご購入ください。

□島のセンター桟橋からセンター事務所まで山道を20分ほど歩いていただきます。舗装されていますが山道でアップダウンがあります(右写真)。動きやすい服装と靴でお越し下さい。

□**島には売店等はありません。昼食のお弁当は必ずご持参ください。**

※窓口で飲み物を販売しています。(お水・お茶・ジュース類等)

■下見のおおまかな流れは以下の通りです。

①センター事務所に到着後、下見の代表者の方は窓口で入島の手続きをしてください。**※入島料はお一人様200円です。**

②担当者と対面、打ち合わせへ

A. 担当者が事前に提出されている「仮受付票」、「下見打ち合わせ表」をもとに日程確認をします。

B. 日程のあらすじに即した施設・設備案内と体験プログラムの場所を確認します。

C. 施設・設備を確認後、プログラムの内容の検討を行います。



【確認させていただく書類関係】**※センターHPからダウンロードできます。**

- | | | |
|--------------------------|-----------------------------|--------|
| ①利用申請書 | ②利用者名簿 | ③食事申込書 |
| ④アレルギー(食物等)に関する調査 | ⑤間食・夜食・野外炊事等申込書 | |
| ⑥販売品・有料アクティビティ・無料貸出備品申込書 | | |
| ⑦体験活動プログラム(2枚) | ⑧部屋割り表(ロッジ用・テント用) | |
| ⑨船便予約表 | ⑩カヌー・カヤック活動実施届・カヌー・カヤック乗船名簿 | |
| ⑪施設利用人員報告書・諸経費の支払いについて | | |
| ⑫人員搬送及び資材搬送依頼届 | | |

D. 今後の手続きに必要な書類(学校利用の手引き・申請書類)等を確認させていただきます。

E. 質疑応答／解散

※多くの学校は午前中の便10時頃で姫路港を出発、打ち合わせの後昼食をとられ、フィールドの見学をすませて、13時～14時の船便で姫路港に帰られています。

□特別支援に関係する児童・生徒のご利用がある場合、下見時にご相談ください。

各種書類の提出

1ヶ月前まで



下見を終えて学校に戻られましたら、下見の折に確認した①～⑫の書類に必ず目を通し、大切に保管してください。

また、センターへは各書類の提出期限を超えないように郵送でご提出ください。

《各書類の提出期限》

■ 1ヶ月前迄に提出する書類(センターへ郵送してください)

①利用申請書

○記入段階でわかる日程・人数等をお書きください

②利用者名簿

○利用者名簿には指導者(教員)、指導補助員、救急員等の方もご記入ください。

○参加者が学校の児童・生徒の場合、学級名簿をそのまま提出していただいても構いません。

③食事申込書

○朝食の希望(パン食か米食のどちらか)、昼食の種類をお書きください。

○自炊の場合は「間食・夜食・野外炊事等申し込み書」と合わせてご記入ください。

④アレルギー(食物等)に関する調査

⑤間食・夜食・野外炊事等申込書

○間食・夜食を発注される場合は、個数・受渡し希望時刻等をお書きください。(食堂利用は不可)

⑥販売品・有料アクティビティ・無料貸出備品申込書

○海洋体験活動を計画されている場合には、記入時点でわかる範囲でお書き下さい。

⑦体験活動プログラム(2枚。引率者用のしおりをこれに代えることが可能です。)

○通常のプログラムと荒天用のプログラムを必ずお書きください。

○センターを利用する日程分だけ記入してください。

⑧部屋割り表(ロッジ用・テント用)

○①の「利用申請書」に書かれた部屋数と部屋割りの数が合うように記入してください。

⑨船便予約表

○この予約表が船便の正式な予約手続きの連絡台帳になります。センターを利用する期間の各団体のすべて入島者、退島者(交替の指導者や関係者も含めて)の便の予約をお願いします。

○チャーター船を利用される学校は、**船会社名、出発港、出発時刻**を必ず明記してください。

各種書類の提出

1週間前まで



■ 1週間前迄に提出

⑩カヌー・カヤック活動実施届(FAXでも可)

○カヌー・カヤックの活動の詳細をお書きください。

⑪人員搬送及び資材運搬依頼届(FAXでも可)

○センター(ヲラゴ)桟橋からセンター中央地区までの行程を、徒歩で困難な方のために車を手配致します。介助者の有無も含めて必要事項に記入してください。

○団体資材のみ、車による運搬依頼をお受けします。具体的な量等、必要事項を記入してください。※指導者の方を含め、個人の荷物を団体資材として運搬することは出来ません。

■ 入島日当日(第1日目)に事務所窓口で直接提出

⑫施設利用人員報告書・諸経費の支払いについて

□各書類の提出方法は原則として郵送でお願いします。

※提出期限に間に合わない場合のみ FAX で送信し、その後郵送してください。

※⑫「施設利用人員報告書・諸経費の支払いについて」は入島日に忘れないようにしてください。

入島日(初日)

(入島から 16:00 のミーティングまでの流れ)

入島まで(港まで)

【荒天時の判断】

○入島が不可能と判断される場合のタイミングについて

- ・前日の16時45分(宿泊をとまなう入所の場合のみ)
- ・前日の20時30分(宿泊をとまなう入所の場合のみ)
- ・当日の6時00分(宿泊をとまなう入所の場合、日帰り利用の場合)

○原則としてセンターからご連絡は致しませんので、状況確認等が必要な場合はお電話ください。

○入島が不可能と判断される判断基準について

- ・暴風雨警報、大雨警報、洪水警報等の警報が姫路市若しくは出発地に発令されている場合
- ・坊勢汽船、輝観光の定期船及び坊勢渡船、高福ライナー等のチャーター船が天候等で欠航になった場合
- ・天候等により海洋体験プログラム(カヌー・カヤック)が不可能と判断される場合
※日帰り利用の場合のみ適用されます

入島まで(港)

【各港からセンターへの連絡】

●港に到着されましたら、乗船完了後(姫路港出発時)にセンターへご連絡ください。

○港への到着が事故等で遅れた場合

○資材運搬や人員搬送が入島日当日に急に必要になった場合

※定期船をご利用の場合、利用する船便の時刻に変更がない限り連絡の必要はありません。

○姫路港以外の港をご利用になっている場合

○チャーター船をご利用の場合は出発地の港を出る前にセンターにご連絡ください。

●交通渋滞で到着が遅れた時でも、定期船は学校の到着を待つことはありません。次の便まで港で待機となりますので、時間に余裕をもって出発してください。

いえしま自然体験センター
(079)-327-1508/1509

【センター(ヲヲゴ)棧橋到着】

●各団体が必要とする資材・備品の船からの荷下ろしとセンターの車両への積載は、原則として学校側で行うようにしてください。

○複数の学校が到着される場合、荷物を混同する可能性があります。船から荷降ろし及び指定された車両に荷物を積載、確認する各団体の担当者を決めておいてください。

○近年、先生方の個人用の荷物を学校用の資材として積載される場面をお見受けしますが、センターの方針で個人用荷物の積載、運搬についてはお断りしております。

体調不良、妊娠、疾患等の配慮が必要な方の個人用の荷物は、職員に事情を説明して許可を得て積載してください。

約20分の歩行が困難な方につきましても、お車で宿泊エリアまでお送りいたします。

○棧橋付近で整列、点呼される場合は、通過する車両の運行にご協力ください。

※運行車両は近づいても警笛は鳴らしません。各団体で安全指導をお願いします。

入島日(初日)のつづき

(入島から 16:00 のミーティングまでの流れ)

【センター中央地区(シンボルゾーン)到着】

- 依頼された資材・備品は野外炊飯棟もしくはロッジ近くに一か所にかためて置きます。
- 弁当や食料関係関係については中央地区到着後すみやかにお受け取りください。
- 中央地区(シンボルゾーン)に到着後に入所式を行います。
 - 野外炊飯棟に荷物を置き、芝生広場に集合してください。
 - ※荒天時には野外炊飯棟で入所式をします。
 - ※複数の団体が同時に入島される場合には、時間と場所を調整します。

【入所式】について

- 入所式は必ず実施してください。
 - 司会進行は各団体側でお願いします。
 - 入所式の流れ、隊形等は各団体で決定してください。
- 入所式のプログラムの中に必ず以下の時間を設定してください。**
 - ①「いえしま自然体験センター所長からのあいさつ(約3分)」
 - ②「担当職員による施設利用に関するオリエンテーション(約7分)」
- マイク・CD デッキ等が必要な場合には事前にセンターの担当者にお申し出ください。
- 校旗、学級旗等の掲揚を希望される場合は掲揚ポールをご利用ください。国旗、県旗以外の掲揚柱3本がご利用いただけます。

【入所式の終了後】

- 入所式が終わり、児童・生徒への指示が終わりましたら、センターとの窓口(連絡調整担当)になられている方(1名で結構です)は入所の諸手続きを行います。**
 - 管理棟(本館)事務所の窓口「施設利用人員報告書」、「諸経費の支払いについて」の用紙2枚を必ず持参し、お越しください。
 - ※「施設利用人員報告書」を見ながら、入島した児童・生徒数、引率者数、食事数を確認し、1日目の午後のプログラム(16時00分までのスケジュール)について確認をします。
- シート、枕カバー、(寝袋(シュラフ)は春夏秋冬のみ)の全員分を一括して管理棟(本館)のオリエンテーションルームで引き渡します。
 - シート、枕カバー等のクラスや班の人数分の分配は各学校でお願いします。
 - シート、枕カバーはロッジ入室時(14:00)までに必ず各団体で引き取るようにしてください。
- 養護教諭もしくは看護師の方に「センターの救急案内」のファイルをお渡ししますので、必ずご一読ください。**
 - 万が一の時の事故の対応マニュアル、センターから最寄の病院連絡先の一覧、活動対象地域のリスクマップ、センター周辺の危険な動植物について等の必要な情報がまとめられています。
 - ファイルにはセンター滞在中に起きた事故や怪我について記録していただく保健日誌も挟んであります。必ずご記入いただき、退所される時にセンターの担当者へご返却ください。
- 給茶用のお茶をつくられる場合は、食堂の給湯機をご利用ください。事前に貸し出し備品で「やかん」の貸し出しを希望された学校は、管理棟(本館)事務所前のカウンターに出されている「やかん」をお持ちください。
- ロッジの鍵は各学校の代表(窓口になっておられる先生)の方に一括してお渡しします。受領後は各学校できちんと管理するようにしてください。

【ロッジの入室について】

- ロッジには 14 時 00 分以降に入室できます。それまでの荷物、食材の管理は各団体で責任をもってして下さい。
 - 腐りやすい食材や弁当等は共同冷蔵庫をご利用ください(共同冷蔵庫は 11 時 00 分から使用できます)
 - 前泊者がいない場合のみ 14 時 00 分より前に入室できることもあります。
- ロッジの鍵は入室時のみ使用します。退出時は玄関扉の内側ノブの突起部分を押して扉を閉めると鍵がかかるようになっています。
- ロッジ内のインターホンは火災、急病等の非常時における管理棟(本館)の事務所との連絡用です。それ以外の使用はしないでください。

【16 時 00 分】

- センターに滞在される期間は毎日 16 時 00 分にミーティングを実施します。
 - 必ずセンターとの窓口となっている方(連絡調整担当)はお越してください。
 - ミーティングの内容は、それ以降の天候の確認、翌日のミーティングまでのスケジュール、プログラム、準備物の詳細な確認、児童・生徒の健康状態の確認などをします。
また、複数の学校利用の場合は、入浴や食事の時間等の最終の確認、微調整を行います。
- 翌日にカヌー・カヤックを予定している学校は、事前に提出されている「カヌー・カヤック実習届」の内容確認を行います。
- ミーティングの内容は以下の通りです。
 - 各団体の出席確認
 - 天候(天候、潮の満ち引き、波の高さ、風の強さ等)概況の確認
 - 各団体の健康観察の報告→16:00 以降の要観察者の有無、活動中の事故等の有無の確認
 - 各団体の 16:00 以降のスケジュール確認、食数変更の確認。
 - その他(質疑応答)
- ミーティング終了後、引き続き利用団体同士で以下の項目の確認と割り振りを決めてください。
 - 入浴、食堂の時間の確認
 - 毎日の掃除(食堂・浴室)の当番団体決め
 - 最終日の美化活動(大掃除)の清掃場所の団体分担決め

【20 時 00 分】

- 自炊で使用した食器の返却は 20:00 以降には受け付けません。明朝 8:30 以降に返却するようにして下さい。

【21 時 00 分】

- ロッジ以外の施設の利用時間(浴室出入り口・管理棟(本館)玄関)や、物品の販売時間は 21:00 までです。21:00 には出入り口、玄関は施錠しますので注意してください。

【22 時 00 分】

- 団体指導者の入浴は 22:00 までです。22:00 以降は入浴を認めませんので、交代で入浴し、22 時には浴室を施錠できるようにご協力ください。
- 各団体の打ち合わせ等で管理棟内、会議室、学習センター、多目的室を 21:00 以降に使用される場合には、22:00 までに全てを終えるようにしてください。

滞在中(離島日前日含む)

【起床】

- 起床時間前に参加者が施設内を指導者の引率なしに出歩くことがないようにしてください。
- 「朝のつどい」等を予定する場合には晴天時は芝生広場を、雨天時は野外炊飯棟をご利用ください。
- 各団体でロッジ内の整理・整頓、ゴミの処理を適切に行うようにして下さい。

【朝食】

- 毎朝 7 時 30 分に食堂が開きます。同時に食堂が開くことを知らせるために右の写真の鐘を鳴らします。

※鐘は勝手に鳴らさないように各団体で指導してください

【8 時 30 分】

- 午前のプログラムの準備にかかってください。
- 午前中に海洋体験プログラムを予定する団体は以下の手順をお願いします。
○集合前にトイレをきちんと済ませておくように各団体で指導してください。

※集合後にトイレの時間をとることは、プログラムの時間の確保の点からも望ましいことではありません。ご協力をお願いします。

○水筒をしまう前に熱中症の予防のためにきちんと水分をとっておくようにしてください。

○持ち物に忘れ物がないことを確認する。

(水筒、弁当、タオル、帽子、軍手、薬など、その他活動に必要なもの)

※帽子は熱中症予防のために必須です。各団体におかれましても必ず帽子を被るように指導を徹底して下さい。帽子は、①陰ができるものが多い方が望ましく、②海上は風が強いので、ゴムなどでとめられる方が望ましいです。



【9 時 00 分】

- 午前のプログラムを開始してください。
- 午前中に海洋体験プログラムを予定している団体は以下の手順をお願いします。

○海洋体験活動(カヌー・カヤック)をされる団体は、艇庫の浜側の石段(右の写真の黄線の部分に)に海を眺めるように(矢印の方向に向かって)整列、点呼を終了させて職員をお待ちください。

○海洋体験活動(筏づくり)をされる団体は、食堂前の広場に食堂側を向いて整列、点呼を終了させて職員をお待ちください。

【昼食】

- 12 時 00 分に食堂が開きます。
- 弁当は 11:30 以降の指定した時間に弁当が食堂入り口の机の上に準備されます。各団体で指定した時間に取りに来るようにしてください。
- テント地区への弁当の配送を希望された団体は、希望された時間(11:30 以降)に配達致します。
- テント地区への弁当の配送を希望された団体は、以下の手順をきちんと守ってください。



- ①弁当を受け取ってからは、日差しや気温、カラス等に注意して管理してください。
- ②生ゴミは生ゴミ用のバケツに直接入れてください。
- ③弁当がらは水ですすいで容れ物とふたをまとめてビニール袋に入れてください。

- 13時00分には食堂を閉めます。13時00分までに退室できるようにしてください。

【13時00分】

- 午後のプログラムを開始してください。
- 午前中に海洋体験プログラムを予定している団体は以下の手順をお願いします。
 - 海洋体験活動(カヌー・カヤック)をされる団体は、艇庫の浜側の石段に海を眺めるように整列、点呼を終了し、センター職員をお待ちください。
 - 海洋体験活動(筏づくり)をされる団体は、食堂前の広場に食堂側を向いて整列、点呼を終了させて職員をお待ちください。

【16時00分】

- 初日と同様のミーティングを実施します。
- 退島日前日のミーティング時には、団体の会計担当の方も必ず同席するようにしてください。

以下の流れは、前日と同じです

【入浴】

- 他の利用者に不快感を与えないようにルールを守ってお入りください。
- 入浴の時間をきちんと守り、**脱衣場が水浸しにならないように指導してください。**

【夕食】

- 18時00分に食堂が開きます。同時に食堂が開くことを知らせるために鐘を鳴らします。
- 19時00分には食堂を閉めます。19時00分までに退室できるようにしてください。

【自炊、夜の体験や学習活動、キャンプファイヤー等の終了後】

- センター内の照明は、瀬戸内海国立公園内で、安全に必要な最低限の照明になっております。活動時には必ず懐中電灯を携行され、安全を最大限に配慮した上で活動して下さい。
- 自炊・キャンプファイヤー・キャンドルサービス等で使用した「火」の後始末は、団体が責任を持って消火し、指示された後始末を必ず実施するようにしてください。
- **自炊・キャンプファイヤー・キャンドルサービス等の「火」を使用した活動をすべて終了した団体の責任者は、管理棟(本館)の事務所へ「終了」した旨を必ず報告してください。**
- **野外炊飯棟の照明は21時00分に消灯します。**

【就寝準備及び就寝後】

- 21時00分以降は、管理棟(本館)の玄関を原則施錠します。翌朝7時30分以降に管理棟(本館)の窓口対応を再開致します。
- **急病等で21時00分～翌日7時30分までの間であっても、宿直の者と連絡をとりたい場合には管理棟(本館)の正面玄関にある「インターホン」でお話してください。**
「インターホン」は宿直室と直接お話しできます。

離島(退所)日

最終日の離島までの動き

【起床】

- 使用したマットや毛布はたたみ、整理してしまってください。
- 貸し出された寝具はたたんで、袋に入れてください。

【シュラフ、シーツ・枕カバーの返却】

- 朝食前からロッジ退出までに済ませてください。
 - シュラフはオリエンテーションルーム内の椅子、もしくは机上に整頓し、固めて置くようにしてください。
 - シーツ・枕カバーは、折りたたんで管理棟の台車の上の袋の中に入れてください。



このあたりに台車が置かれます

朝食前にシュラフ、シーツ・枕カバーを返却することをお勧めします。

【施設・ロッジ内の大掃除及び整理・整頓(リフレッシュタイム)】

- 団体が退所される日には必ず団体による大掃除をお願いします。
 - 清掃のやり方は「利用の手引き」を参考にしてください。
 - 給茶用の「やかん」もきちんと洗ってご返却ください。

【ロッジの退出について】

- ロッジのチェックアウトは10時00分までに済ませるようにしてください。
 - チェックアウト後にセンター職員が点検清掃を行います。時間に遅れないようにお願いします。
 - ロッジ内の整理・整頓をきちんと済ませてください。
 - ※整理・整頓の際に、汚してしまった毛布やマットをそのまま片付けてしまう団体があります。
 - 持ち込んだゴミや活動中に出了たゴミは分別して、所定の場所に捨ててください。
 - ロッジの鍵はロッジ退出時に【点検】
- 清掃活動が終わりましたら、センター職員に声をおかけください。ロッジの鍵をご返却ください。退所時はロッジの鍵は開けたままで結構です。(当センター職員による巡回・確認をします。)

【退所の手続き】

- 退島2時間前になりましたら、会計担当の方は、事務所で「請求書」をお受け取りください。

【退所式】

- 退所式の準備ができましたら、管理棟(本館)の事務所へご連絡ください。
- 荒天時には野外炊飯棟、食堂テラス等で退所式を実施します。
- 養護教諭もしくは看護師の方にお渡ししている「救急案内」をご返却下さい。
- チェックアウト後の荷物や団体資材・備品は出発まで各団体で責任をもって管理してください。**
 - 桟橋まで団体資材の運搬を要請される場合、野外炊飯棟周辺におくようにお願いします。

【退所式について】

- 司会進行は各学校でお願いします。
- 退所式の流れ、隊形等は各学校で決定してください。
 - ※「センター所長からのあいさつ(約5分)」の時間を確保するようにしてください。
- マイク・CDデッキ等が必要な場合には事前に必ずセンターの担当者にお申し出ください。

【中央地区からセンター(ヲヲゴ)桟橋へ】

- 団体資材の運搬及び体調不良の方の搬送は、センター職員の指定した車両に積載してください。
 - 近年、個人用の荷物を学校用の資材として積載される場面をお見受けしますが、センターの方針で個人用荷物の積載、運搬については原則としてお断りしております。
- 海岸で遊び、靴が汚れたまま船に乗船して困る、という苦情が寄せられています。
「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

C. 効果的にプログラムを作成するために

①食事

センターでの食事は、完全予約制の定食(食堂利用)か、自炊のいずれかのご利用になります。

当センターの定食は食材を吟味し、無添加・無着色のものを使用し、すべて手作りの心身にやさしい食事です。手作りの為、食品アレルギー等にも柔軟に対応可能です。

食堂利用の料金（一人あたり）		自炊食材セット料金（一人あたり）	
食 事	料 金	セット名	料 金
朝食	500円	カレーセット	350円
昼食	600円	焼きそばセット	400円
夕食	900円	鉄板焼きセット	600円
合計	2,000円	カートンドッグセット	200円

セット食材にお米は含まれておりません。

■自炊食材のセット内容(見本)

①カレーセット 	②焼きそばセット 	③鉄板焼きセット 																																																
1人前 350円 <table><tr><td>牛肉(ばら肉)</td><td>(50g)</td></tr><tr><td>じゃがいも</td><td>(80g)</td></tr><tr><td>にんじん</td><td>(50g)</td></tr><tr><td>たまねぎ</td><td>(60g)</td></tr><tr><td>カレールー</td><td>(50g)</td></tr><tr><td>福神漬</td><td>(20g)</td></tr><tr><td>サラダ油</td><td>(適量)</td></tr></table>	牛肉(ばら肉)	(50g)	じゃがいも	(80g)	にんじん	(50g)	たまねぎ	(60g)	カレールー	(50g)	福神漬	(20g)	サラダ油	(適量)	1人前 400円 <table><tr><td>豚肉</td><td>(50g)</td></tr><tr><td>キャベツ</td><td>(80g)</td></tr><tr><td>にんじん</td><td>(10g)</td></tr><tr><td>ピーマン</td><td>(10g)</td></tr><tr><td>ねぎ</td><td>(5g)</td></tr><tr><td>そば</td><td>(1玉)</td></tr><tr><td>粉末ソース</td><td>(1袋)</td></tr><tr><td>牛脂</td><td>(1個)</td></tr></table>	豚肉	(50g)	キャベツ	(80g)	にんじん	(10g)	ピーマン	(10g)	ねぎ	(5g)	そば	(1玉)	粉末ソース	(1袋)	牛脂	(1個)	1人前 600円 <table><tr><td>牛肉(ばら肉)</td><td>(100g)</td></tr><tr><td>豚肉(ばら肉)</td><td>(50g)</td></tr><tr><td>ソーセージ</td><td>(1本)</td></tr><tr><td>キャベツ</td><td>(100g)</td></tr><tr><td>コーン</td><td>(1切れ)</td></tr><tr><td>ピーマン</td><td>(半分)</td></tr><tr><td>人参</td><td>(20g)</td></tr><tr><td>タマネギ</td><td>(40g)</td></tr><tr><td>タレ・油等</td><td>(適量)</td></tr></table>	牛肉(ばら肉)	(100g)	豚肉(ばら肉)	(50g)	ソーセージ	(1本)	キャベツ	(100g)	コーン	(1切れ)	ピーマン	(半分)	人参	(20g)	タマネギ	(40g)	タレ・油等	(適量)
牛肉(ばら肉)	(50g)																																																	
じゃがいも	(80g)																																																	
にんじん	(50g)																																																	
たまねぎ	(60g)																																																	
カレールー	(50g)																																																	
福神漬	(20g)																																																	
サラダ油	(適量)																																																	
豚肉	(50g)																																																	
キャベツ	(80g)																																																	
にんじん	(10g)																																																	
ピーマン	(10g)																																																	
ねぎ	(5g)																																																	
そば	(1玉)																																																	
粉末ソース	(1袋)																																																	
牛脂	(1個)																																																	
牛肉(ばら肉)	(100g)																																																	
豚肉(ばら肉)	(50g)																																																	
ソーセージ	(1本)																																																	
キャベツ	(100g)																																																	
コーン	(1切れ)																																																	
ピーマン	(半分)																																																	
人参	(20g)																																																	
タマネギ	(40g)																																																	
タレ・油等	(適量)																																																	
④カートンドッグセット 	⑤おにぎりセット 	⑥オプションメニュー ※おにぎり(1こ100円)																																																
1人前 200円 <table><tr><td>ホットドッグパン</td><td>(1本)</td></tr><tr><td>ソーセージ</td><td>(1本)</td></tr><tr><td>スティックケチャップ</td><td>(1本)</td></tr><tr><td>キャベツ</td><td>(30g)</td></tr></table> 調理用牛乳パックは持参ください。	ホットドッグパン	(1本)	ソーセージ	(1本)	スティックケチャップ	(1本)	キャベツ	(30g)	1人前 250円 <table><tr><td>おにぎり</td><td>(2個)</td></tr><tr><td>おかず</td><td>(1品)</td></tr><tr><td>味付け海苔</td><td>(1袋)</td></tr></table>	おにぎり	(2個)	おかず	(1品)	味付け海苔	(1袋)																																			
ホットドッグパン	(1本)																																																	
ソーセージ	(1本)																																																	
スティックケチャップ	(1本)																																																	
キャベツ	(30g)																																																	
おにぎり	(2個)																																																	
おかず	(1品)																																																	
味付け海苔	(1袋)																																																	

《注意》

- 食堂は日帰り利用の学校はご利用いただけません。
- 食事の申し込みは、提出書類（「食事申し込み表」と「アレルギー調査表」）をご記入の上、1ヶ月前までにお申し込みください。**
- アレルギーの変食対応は、調査表にもとづいて行いますが、ショック症状をとまなう激しいアレルギー反応がある場合、必ずセンターの食堂にご相談ください。**
- 食事数の変更、取り消しは前日のミーティング(16:00)で最終確認をしますが、2食以上の食数変更、食堂利用時間の変更等は必ずお申出ください。突然の変更には応じられないことがあります。
- 自炊食材のセットに「お米」は含まれておりません。**センターで別途ご購入（1合80円）いただくか、各学校でご持参ください。

- 「おにぎり」を1個100円 ①
でご用意することもできます。
(※事前要予約)

- 朝食についてはパン食(右①)・
米食(右②)が選択できます。
**(※複数団体のご利用がある場合
には調整します)**



- 昼食は、活動を円滑にするためにお弁当にすることもできます。
お弁当(550円)、おにぎりセット(250円・前頁記載)
(※事前要予約)

- お持ち込みになった食材等を保管するための共同冷蔵庫(右写真)
が食堂横に設置してあります。

- 施設で食材を購入することもできます。詳しくはセンターへお問い合わせください。以下に食材購入可能食材例をお知らせします。



食材購入可能食材(例)

共同冷蔵庫→

肉類	野菜(個数単位)	果物(個数単位)	調味料(業務用)
※牛バラ スライス	キャベツ	りんご	※マヨネーズ
※焼き肉用一牛肉	じゃがいも	オレンジ	※砂糖
※豚バラ スライス	にんじん	グレープフルーツ	※みそ
※鶏もも肉(30gカット)	タマネギ	※バナナ	※塩
※は1kg単位での注文 のみ受付	ピーマン	※バナナは火(タ方)～水 金(タ方)～土 のみ購入可能	※は1kg単位での注文 のみ受付
☆ソーセージ	大根		☆しょうゆ
☆本数 位で受付	キュウリ		☆みりん
	白菜		☆は1.8kg単位での 注文のみ受付
	生しいたけ		

予約販売食材と料金

品 名	販 売 価 格	品 名	販 売 価 格
クロワッサン(1個)	100円	オレンジジュース(パック)(125ml)	70円
米(1合)…無洗米	80円	オレンジジュース(缶)(280ml)	160円
牛乳(200ml)	110円	アップルジュース(缶)(280ml)	160円
ミネラルウォーター(500ml)	160円	お茶(500ml)	160円
スポーツドリンク(500ml)	160円	おにぎり	100円

※このほかにも購入可能な食材があります。詳細はお問い合わせください

■ 食堂の利用について

□ 利用できる時間

- 朝食 7:30～ 8:30
- 昼食 12:00～13:00
- 夕食 18:00～19:00

※上記の時間以外の食堂の利用(リクリエーション・学年集会等)はできません。

※上記の時間内で入室から退室までを済ませてください。

※持参弁当等の昼食は野外炊飯棟をお願いします。

○食堂は原則として個別の盛りつけによる提供となります。

○複数での団体が一緒に食堂を利用する場合にはお互いに譲り合ってください。

○給茶用の給湯器(下記の食堂平面図内の「C」の場所及び写真)のご利用は、食堂の利用時間を避けるようにお願いします。

○手荷物等は衛生上から持ち込まないでください。

○水着やぬれたままの服装、靴での食堂利用はお断りします。

○海洋体験活動によりロッジ地区以外で食事をする場合は、弁当を配達することができます。**配達時間は11時30分以降になります。**



↑ 食堂入り口

□ 食堂から団体引率者へのお願い

○食堂内で他団体と利用が重なっている場合、食堂内での参加者への指導や食前の歌などを十分に配慮するようにしてください。

□ 食堂利用後の清掃

食堂を利用した団体は毎食後、食堂内の清掃活動をしてください。清掃内容は以下の通りです。

○使用したテーブルの上をふきんで拭いてください。(備え付けのものをご利用下さい。)

○トレイに拭きもらしがなくチェックし、トレイの大きさ別にきれいに重ねてください。

○食堂入り口にある清掃道具箱の中の清掃道具を使い、使用した場所の床を掃除します。

※ほうきで掃き、ゴミを拾う。泥や水などでぬれている場合はモップで拭くようにします。

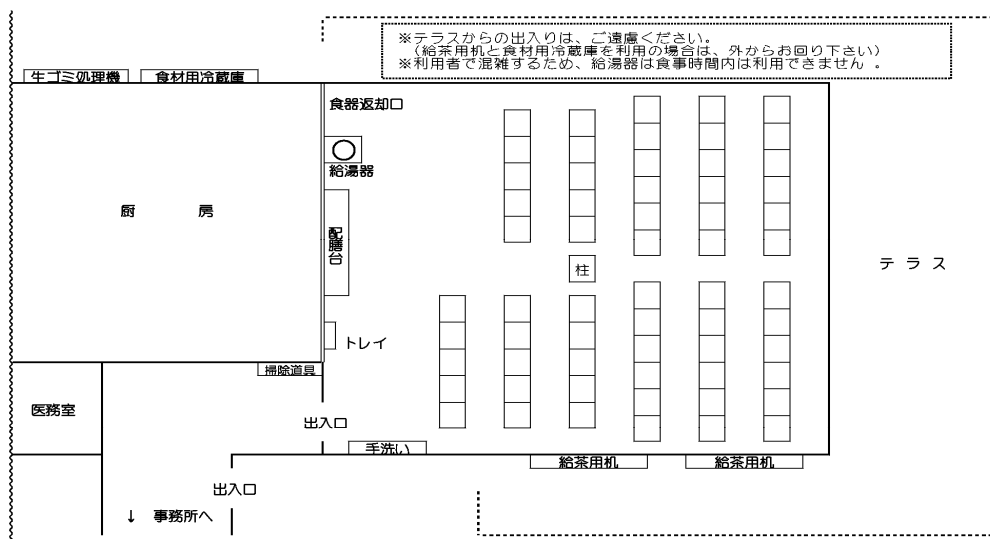
○食器返却口の床マットを外の水道を使って洗って干し、外に干してあるマットと交換します。。

○手洗い場の付近の床をモップで拭き、手洗い場をふきんでふくようにしてください。清掃で使ったモップ類はゴミをとり、きれいに洗って返却してください。

※複数の団体が利用している場合、利用団体同士で話し合い、決めてください。

■ 食堂平面図

食 堂 平 面 図
(テーブル61 イス244)



②入浴

□入浴時間

○入浴は16:00～21:00までできます。

※冬季は17:30～21:00まで入浴できます。

○**21:00**にはボイラーを停止させます。

○複数の利用がある場合には、各団体の時間を指定することがあります。

※荒天等により海洋体験活動に急な変更があった場合、入浴時間に変更をお願いすることがあります。

○大浴場を女性が、中浴場を男性が使用します。

※中浴場は浴槽が大きく、大人6～8人程度が入れます。洗い場は少ないです。→シャワー7

※大浴場は浴槽が小さく、大人3～4人程度が入れます。洗い場は多いです。→シャワー15

○大浴室(女性用)の着替えロッカーのボックスは全部で32あります。

○中浴室(男性用)の着替えロッカーのボックスは全部で24あります。



大浴室(シャワーエリア)

中浴場(男性用)	大浴場(女性用)	
中浴場(男性用) 脱衣場	大浴場(女性用) 脱衣場	シャンプー・リンスについて

□入浴時の注意

○**ボディソープ、シャンプー等はセンターで購入するか、各団体でご準備ください。**

海洋汚染を防ぐため、合成石けんの使用を制限しています。ご理解とご協力をお願いします。

※**センターの石けんシャンプー・リンスは弱アルカリ性のために染色されていたり、パーマ等で髪が傷んでいる場合、色落ち等がおきる可能性があります。肌が敏感な方や髪質等に特徴がある児童・生徒がいる場合には必ずセンターにご相談ください。**

※シャンプー・リンス 各350ml → 400円

せっけんボディソープ 500ml → 400円

詰め替えタイプですので、空ボトルは返却してください。

○各校の指導者の方は、浴室でのマナー等をきちんと指導してください。

○浴槽に水着やタオルを着装したまま入らないでください。

○かけ湯をしてから浴槽に入るようにしてください。

○浴室を出る際には、ぬれタオルをよくしぼって体を拭いてから脱衣所へ入るようにしてください。

○利用後、**浴室と脱衣所の状況や忘れ物の最終確認をしてください。**

○**浴場のイスや風呂桶は、各校で責任をもって所定の場所に戻すようにしてください。**

③寝具の準備と片付け

不特定の方に同じものをお使いいただくものがセンターにはあります。その中で最も長時間にわたってご利用いただくのが寝具です。

センターではロッジ・テントでの楽しく快適な夜を過ごしていただきたいと考えております。そのためには、利用者の部屋の整理・整頓、寝具の使い方や片付け方がきちんとしていないと利用者の皆様にご満足いただく事はできません。「家では布団なのでシュラフなんて知らない」、「毛布にたたみ方があるの?」という声をお聞きますが、次の利用者のために寝具を丁寧にたたむことによって、次に使う人へ「思いやりのバトン」を手渡して欲しいと思います。

各季節によりご利用になる寝具が変わります。また、個人の体調により寝具を調整することもできます。利用期間中に体調を崩すことがないように体をしっかりと休めてください。

□センターで使用する寝具一覧

各ロッジに常備されている寝具類		マットレス、毛布、枕
入所時に渡される寝具類	ロッジ地区	(袋状の)シーツ、枕カバー(宿泊者から一律 250 円を徴収) シュラフ(無料貸し出し)
	テント地区	(袋状の)シーツ(宿泊者から一律 250 円を徴収) 毛布、シュラフ(無料貸し出し)

■シーツ、枕カバー、シュラフの利用者の引き渡しについて

□シーツ、枕カバー、(寝袋(シュラフ)は春夏秋冬のみ)の全員分を一括して管理棟(本館)のオリエンテーションルームで引き渡します。

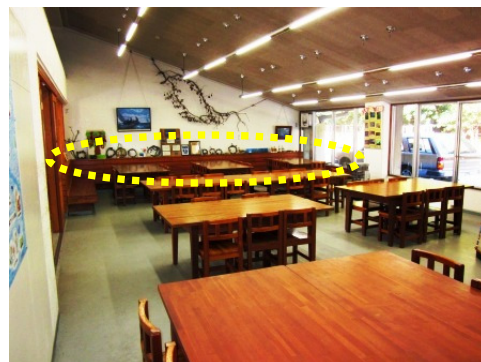
※右の図の黄色の点線のあたりに各団体ごとにかためて置かれますので、間違えないように受け取ってください。

※シーツ、枕カバー等の各団体ごとの区分(クラスや班の人数分)ごとの分配は、各団体でお願いします。

■シーツ、枕カバーの使用について

□シーツ、枕カバーは必ず装着し、睡眠時に使用するようになっています。

黄色の点線部付近にシーツ・枕カバーが置かれます。



↑ **オリエンテーションルーム**

④ゴミ処理について

□各団体が持ち込んだゴミは持ち帰るようにしてください。

□センターにおいて活動中に出了ゴミは、以下に示す。

処分の仕方、分別の仕方を守り、各団体で責任をもって処理するようにしてください。

※近年、分別がいい加減な利用者が増えています。

当センターは環境教育を推奨する施設であり、利用者の皆さんに環境との共生を考えるきっかけを考える施設です。きちんと分別してリサイクル(再資源化)にご協力ください。

ゴミステーション→



⑤清掃

団体でご利用になった場合、宿泊研修(自然学校)の最終日にはセンターの清掃をお願いします。

清掃をお願いする場所及びやり方は以下の通りです。**来た時よりも美しくお互いに協力しあって『思いやりの「バトン」』を次の学校にお渡しください。**

この点検リストにもとづいて各校での指導をお願い致します。清掃がすべて終了しましたら、「清掃点検リスト」を管理棟(本館)の事務所にご提出ください。

※複数校の利用があり、最終日が同じ場合、共有場所の清掃については入島日の16:00のミーティングの終了後、各校の代表同士で調整をお願いします。

【毎日の掃除】

●**食堂**→食堂利用後に各団体で行ってください。

○食堂の床の掃き掃除

○テーブルを拭く

○洗い場のマットの交換

※食堂利用団体が複数の場合は、団体間相互に分担の割り振りを決めてください。

●**浴室**→浴室を利用された団体は次の日の朝に清掃をしてください。

※浴室利用の団体が複数の場合は、団体間相互に分担の割り振りを決めてください。

○いす・おけの整理・整頓

○脱衣場の掃き掃除(電気掃除機をかける)

○脱衣場の床がぬれている時は、雑巾で拭いてください。

○出入り口付近の掃き掃除

【大掃除】

□清掃場所・清掃道具保管場所・清掃分担団体名一覧表

	清掃場所・区域	清掃道具保管場所		清掃責任団体名
必須	各ロッジ	各ロッジ内		
	管理棟(本館)浴室	男	浴室入り口付近	
		女	脱衣場奥	
	管理棟(本館)ホール・廊下	事務所奥(窓口で申し出てください)		
	オリエンテーションルーム 会議室	事務所奥(窓口で申し出てください)		
	管理棟(本館)トイレ	女子トイレ手前の管理庫		
選択	食堂	食堂入り口付近		
	野外炊飯棟	ゴミステーション裏側		
	芝生広場	管理棟裏(窓口で申し出てください)		
	浜辺	管理棟裏(窓口で申し出てください)		
	環境学習センター	多目的室前の倉庫		

※清掃場所・区域のうち、青色で着色されている場所・区域は集合時に雑巾を持参すること

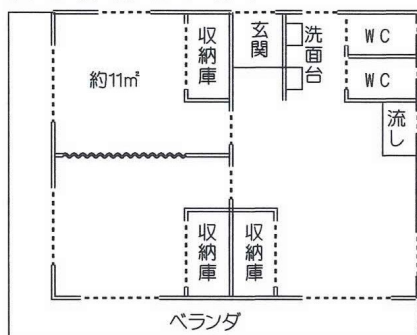
⑥宿泊施設の設備・備品と料金

センターでの宿泊は、中央地区ではロッジ、野外活動地区ではテント利用となります。

赤字は学校利用に限った宿泊定員です。

☆ A ロ ッ ジ

(10人用×7棟)



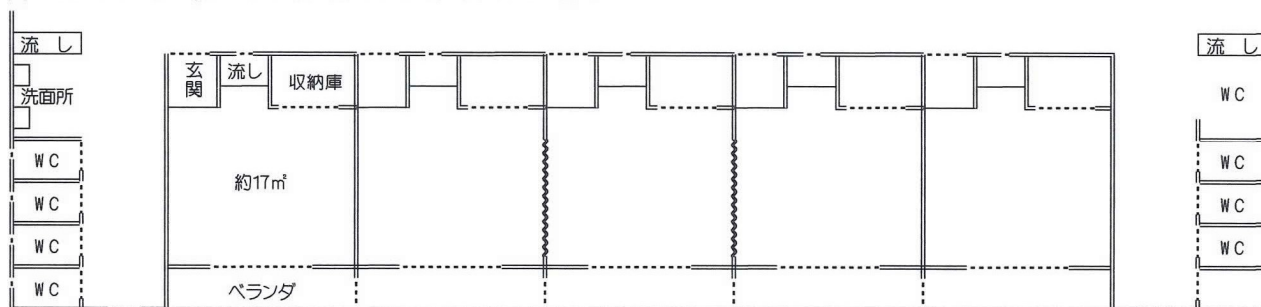
☆ B ロ ッ ジ

(6人用×7棟)



☆ C ロ ッ ジ

(7人用×5部屋×3棟)



宿泊設備・備品について

【テント宿泊料金】

【4人用常設テント】…25張

○収容可能人員(最大)100人(4人×25張)

○使用料(1泊1張)

¥1,600円(※800円)

【8人用常設テント】…7張

○収容可能人員(最大)56人(8人×7張)

○使用料(1泊1張)

¥3,300円(※1,650円)

※ロッジに備え付けているもの

・冷蔵庫 ・マット ・毛布 ・枕 ・安全蚊取り器
・非常灯 ・掃除機 ・ほうき ・ちりとり
・簡易ベッド(ABロッジのみ)
・茶器セット(指導者が利用するロッジのみ)
《夏季》 ・扇風機
《冬季》 ・ファンヒーター ・こたつ(Aロッジのみ)

※ ~~~~~ は、外すことが可能な壁です。外して使用された時は、チェックアウト時に元に戻してください。

※C-2には、身障者用トイレを備えています。

※各ロッジのインターホンは、事務所とつながっています。緊急時のみお使いください。

【注意】 宿泊費とは別に、シーツリネン費が(1枚)250円が必要。日帰りの場合→入島料1人210円が必要。

⑦キャンプファイヤー

- 楽しく思い出深いキャンプファイヤーにするには安全の配慮も必要です。センターには消防機関がありません。火の扱いについては他の施設よりも厳格に行っております。ご協力をお願い致します。

【事前申し込み】

- キャンプファイヤーをお考えの団体は必ずプログラムの中に実施したい日時を記入してください。
- 複数の団体がファイヤー実施の希望をされている場合は、日時を変更していただく場合があります。
 - 調整ができない場合には、別のエリアのファイヤープレースをご利用いただくことになります。
 - ※利用人数が多数の方にシンボルゾーン、少人数の団体に別エリアをお使いいただきます。

【活動中の留意点】

- 火の取り扱いには十分気をつけてください。

○強風・雨の場合は実施していただくことはできません。

※キャンプファイヤー開始後でも風力が増すようであれば中止していただくことがあります。

※マジックファイヤーのような点火方法や打ち上げ花火等、火柱が激しくあがる花火は禁止です。

※ファイヤー開始時には、消火用バケツを準備してからファイヤーを実施するようにしてください。

【キャンプファイヤーの準備】

■準備

- 16:00までにファイヤーの薪が右のように食堂下の一輪車の上(右の写真の黄線のように)に準備されます。各団体でファイヤープレースに薪を組むようにしてください。

○薪 太い薪…14本 薪…一輪車に一盛り

●準備物

- トーチ…各団体で
- 防火用のバケツ
- 各団体が独自に使用する機器

■キャンプファイヤー30分前に

●実施の可否の判断

- 風力、風向き等がファイヤーのできる状態か否かを判断します。担当者は事務所へ来てください。
- キャンプファイヤーが無理な場合には、野外炊飯棟、食堂のテラス、艇庫を使ってキャンドルサービスができるようであれば実施してください。
- ※食堂内は衛生上ご利用いただくことができません。

●実施可能と判断された場合

○**事務所窓口で、灯油セットをお渡しします。**※灯油は1㍗。 (灯油追加は1㍗100円)

○灯油を受け取りましたら、団体で責任をもって管理し、容器は終了後に返却してください。

【キャンプファイヤー終了後】

■後片づけ

- プレースに水をかけて消火してもらっても構いません。
- ゴミステーション横の灰置き場からパール缶をファイヤープレースまで持ってきます。
- 消火を確実に済ませた燃え残りや灰は、パール缶に入れます。
 - 必要な土、ほうき、ちりとりはゴミステーション後ろから持ってきてください。
- 燃えかすや灰を入れたパール缶は、灰置き場に置いてください。
 - 必要があるときは再度ここで水をかけて消火を徹底してください。
- トーチに使ったトーチ棒もしっかりと消火した後、灰置き場にかためて置くようにして下さい。
 - ※トーチが5本以上ある時は、必ずヒモで束ねて置くようにして下さい。

活動終了後はセンター職員が消火確認を行いますので、必ず責任者はファイヤー終了後に管理棟(本館)事務室へ報告してください。

※灰の片づけは翌日でも構いませんが、火はファイヤー終了後、水をかけて必ず消火してください。



⑧活動の様子ホームページ(HP)への掲載について

団体の活動をセンターのHPへ掲載しませんか!!

センターで滞在している期間中、あなたの団体の活動風景(写真)を「いえしま自然体験センター」のHP(ホームページ)から発信しませんか？

- 「いえしま自然体験センター」のHP内にある「本日のいえしま」のページ内に各団体の活動中の写真を3枚まで掲載します。
- 掲載を希望される団体は、16:00のミーティング終了後～夕食時までに事務所へ「団体写真 HP掲載申し込み用紙」に必要事項を記入して、ご提出ください。
- 注意事項をよく守り、各団体で写真を厳選した上でご利用ください。

《注意事項》

- ◇いえしま自然体験センターでは、用紙に記載された内容の掲示のみ行います。
- ◇一般に公開されているHPになりますので、肖像権については各団体でご配慮の上、可能な限り個人の特定ができない(顔・名札等)写真をお願いします。
- ※学校利用や保護者から肖像権等の問い合わせがあった場合、いえしま自然体験センターでは責任を持ちかねますので、予めご了承の上でご記入いただきますようお願い申し上げます。
- データ容量の制限で、画像を縮小、画質変化等の編集をする場合があります。

(ホームページ例)

20xx/xx/x(水) 21:00

〇〇市立△△小学校 自然学校1日目

野外炊飯では、カレーライス、ハンバーグ、ビーフシチュー、サラダなどメニュー豊かな夕食づくりをしました。

写真

団体写真 HP掲載申し込み用紙

掲載希望日	H 年 月	団体名	
	日		
団体責任者		文責	

《記入例》

写真番号	〇〇〇〇〇														
コメント	天	気	も	よ	く	、	波	も	穏	や	か	な	海	で	力
	又	一	体	験	を	し	ま	し	た	。	み	ん	な	元	気
	に	活	動	し	て	い	ま	す	。						

文字数は多少オーバーしても調整可能です。

① 写真番号															
コメント															

②写真番号															
コメント															

③写真番号															
コメント															

D. 施設について (1)いえしま自然体験センター全体図

②分岐点付近の施設と看板類



①いえしま自然体験センター桟橋



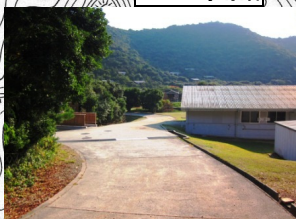
↑ バイオトイレ

↑ 分岐点

↑ 分岐点にある行き先看板



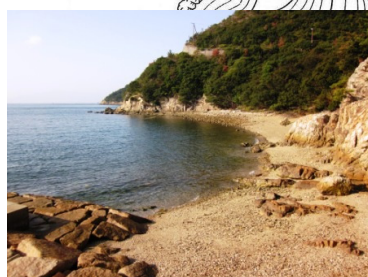
③中央地区入り口付近



創作活動地区



創作活動地区の風景



④海中探検ゾーン



⑤艇庫前から浜を望む



⑥分岐点より中央地区を眼下に小豆島を望む



⑦芝生広場を望む



⑧野外活動地区の(立舞)浜を望む

(2)中央地区平面图



環境学習センター



ボランティアリーダー棟



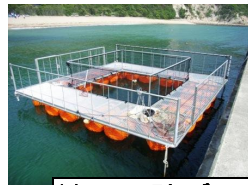
B ロッジの外観↑と内部↓



海中探険ゾーン



野外炊飯場



養殖体験ゾーン



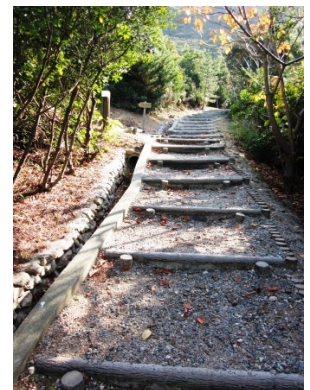
C ロッジ(長屋タイプ)



中央管理棟(中央奥)と食堂(右側)



シャワー・更衣室

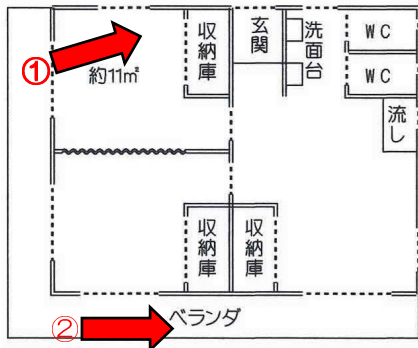


ロッジ内の洗面台(左)とトイレ(右)

(3) ロッジ内の平面図と設備

☆ A ロッジ

(10人用×7棟)



☆ B ロッジ

(6人用×7棟)



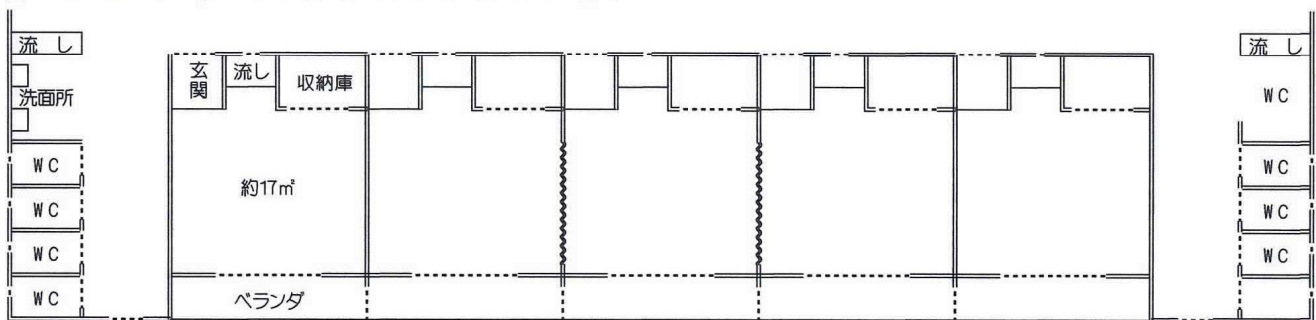
※ロッジに備え付けているもの
 ・冷蔵庫 ・マット ・毛布 ・枕 ・安全蚊取り器
 ・非常灯 ・掃除機 ・ほうき ・ちりとり
 ・簡易ベッド(ABロッジのみ)
 ・茶器セット(指導者が利用するロッジのみ)
 《夏季》 ・扇風機
 《冬季》 ・ファンヒーター ・こたつ(Aロッジのみ)

※ ~~~~~ は、外すことが可能な壁です。外して使用された時は、チェックアウト時に元に戻してください。

※C-2には、身障者用トイレを備えています。

※各ロッジのインターホンは、事務所とつながっています。緊急時のみお使いください。

☆ C ロッジ (7人用×5部屋×3棟)



Aロッジ内の一室



Aロッジのベランダ



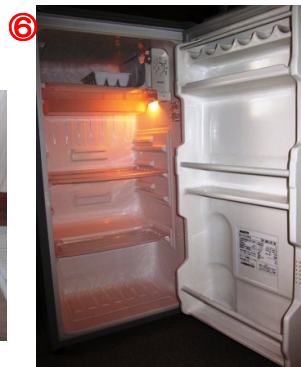
インターホン
(事務所のみ直通)



Bロッジの玄関



茶器セット
(指導者使用ロッジのみ)



ロッジ備え付け冷蔵庫



非常灯(持ち出し厳禁)

E. いえしま自然体験センターへの交通案内

(1) 姫路港～いえしま自然体験センターへの行き方

坊勢(島)～いえしま自然体験センター間の各船会社の船便はすべて不定期便です。乗船される場合には必ずセンターへ①乗船する船便の時刻と、②人数(大人と子どもを連絡してください)。

※いえしま自然体験センターへは、2社が運行しています。お乗り間違いをしないようにご注意ください。

坊勢汽船(ぼうぜきせん)	079-234-1138
輝観光(ひかりかんこう)	079-326-0218

(2) 時刻表(26.1.30時点)

坊勢汽船(ぼうぜきせん)					輝観光(ひかりかんこう)				
○往路(姫路港→いえしま自然体験センター)					○往路(姫路港→いえしま自然体験センター)				
便	姫路港発	坊勢着	坊勢発	センター・棧橋到着	便	姫路港発	坊勢着	坊勢発	センター・棧橋到着
1	7:25	7:55	7:58	8:01	1	7:03	7:35	7:39	7:43
2	10:05	10:35	10:38	10:41	2	9:00	9:32	9:36	9:40
3	13:05	13:35	13:38	13:41	3	11:35	12:07	12:11	12:15
4	15:05	15:32	15:35	15:38	4	14:00	14:32	14:36	14:40
5	16:55	17:25	17:28	17:31	5	16:00	16:32	16:36	16:40
○復路(いえしま自然体験センター→姫路港)					○復路(いえしま自然体験センター→姫路港)				
便	センター・棧橋発	坊勢着	坊勢発	姫路港着	便	センター・棧橋発	坊勢着	坊勢発	姫路港着
1	8:40	8:43	9:00	9:27	1	7:46	7:50	8:08	8:40
2	11:00	11:03	11:25	11:50	2	9:43	9:47	9:55	10:27
3	13:44	13:47	14:10	14:37	3	12:40	12:44	13:18	13:50
4	15:41	15:44	16:00	16:30	4	14:43	14:47	15:10	15:42
5	17:34	17:37	17:50	18:20	5	16:43	16:47	16:58	17:30

※大型船(クィーンぼうぜ)が運行の時は、到着時間が10分程度遅くなります。

※12/1～2/28まで、坊勢～センター・棧橋間は運休しています。

(3) 運賃について

①坊勢汽船（ぼうぜきせん）

	片道	往復	備考
大人	1,200	2,400	大人(中学生以上)
小人	600	1,200	※幼児は大人1人に対して1人は無料
団体料金			大人・小人合わせて15名以上 ※幼児を含む
大人	1,100	2,200	
小人	550	1,100	

②輝観光（ひかりかんこう）

	片道	往復	備考
大人	1,200	2,400	大人(中学生以上)
小人	600	1,200	※幼児は無料
団体割引			
1割引			大人と小人合わせて15名以上 ※幼児を含む

※詳細については各船会社にお問い合わせください。

※姫路港以外からの来島はチャーター船が便利です。詳細は各船会社にお問い合わせください。

船会社名	電話番号	船会社名	電話番号
坊勢汽船	079-234-1138	輝観光	079-326-0218
坊勢渡船	079-326-0559	高福ライナー	079-325-1970

※団体の貸切船の詳細は、各船会社にご直接お問い合わせください。

※小学校3年生以下の利用時のみ中央地区への発着を許可しています。事前にご相談ください。

※往復切符は船会社相互で共通にはご利用いただけません。ご注意ください。

(4)船便のご利用についての注意

■手続き

- 船便の日時が決まりましたら、センターへご連絡ください。※船便予約はセンターが行います。
- 各船会社に団体の手続きの仕方と当日の乗船について必ずお尋ねください。

○団体が使う資材の船への持ち込む量は常識の範囲内をお願いします。

※あまりにも多い場合には貨物扱いとなり、別途料金が発生することがあります。

■乗船及び下船

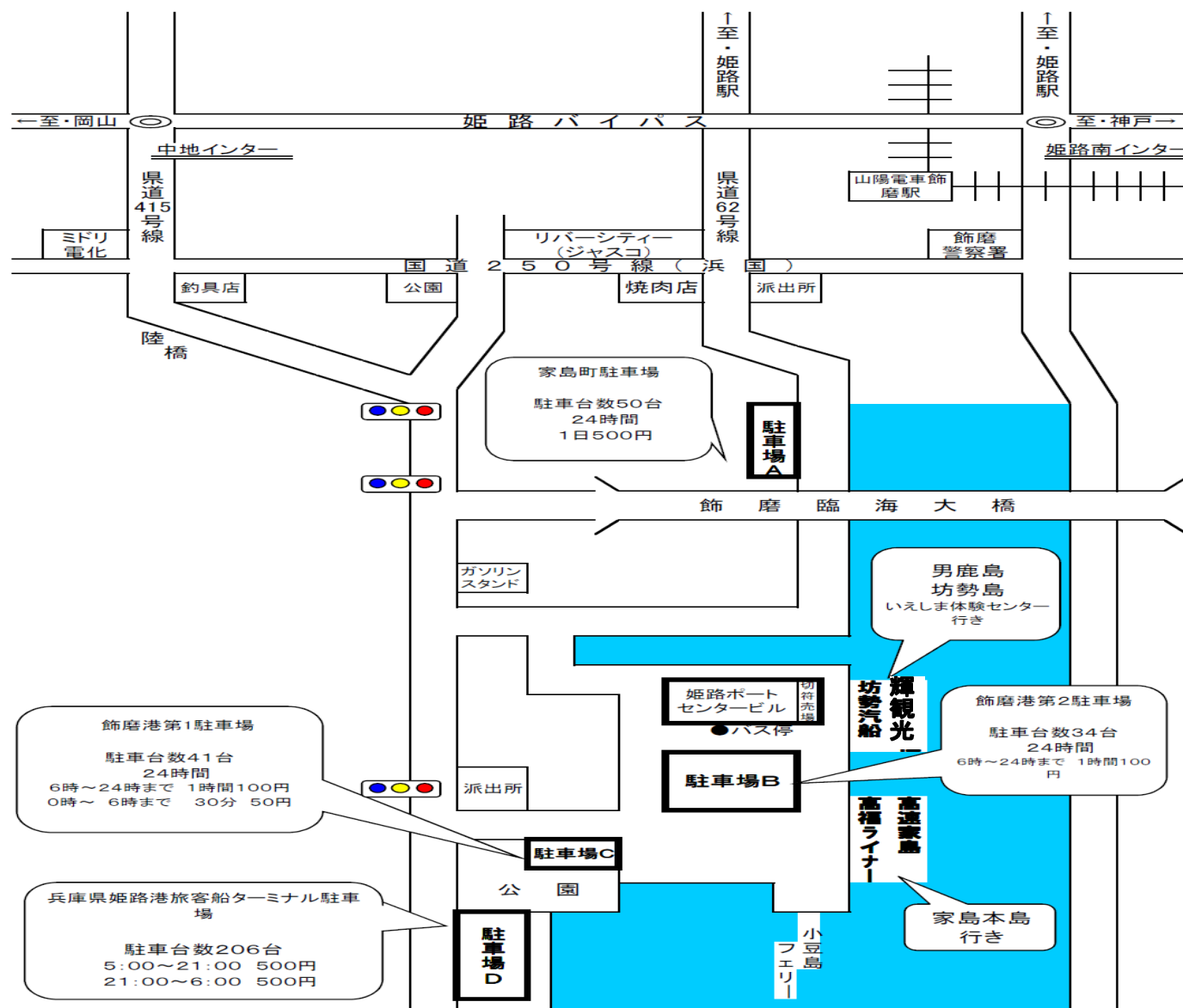
- 乗船時間の **30 分前まで** に各団体の担当者は、利用する船会社の窓口にて受付してください。
- 道路渋滞や事故により出港時間に間に合わないと予想される場合、すみやかに船会社へ連絡をして、ご相談ください。その後、センターへ船会社と確認した変更の内容をお知らせください。
- 参加者の乗船、下船については安全について学校側が最大限の注意を払うようにしてください。
- 団体の資材の船への積み降ろしは、速やかに終わることができるように協力してください。

■センター桟橋での待機について

- センター桟橋付近での集合、待機については各団体が責任をもって安全管理を行ってください。
- センター桟橋付近の海岸線で遊び、靴などが汚れたまま船に乗船して困る**、という苦情が船会社から寄せられています。「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

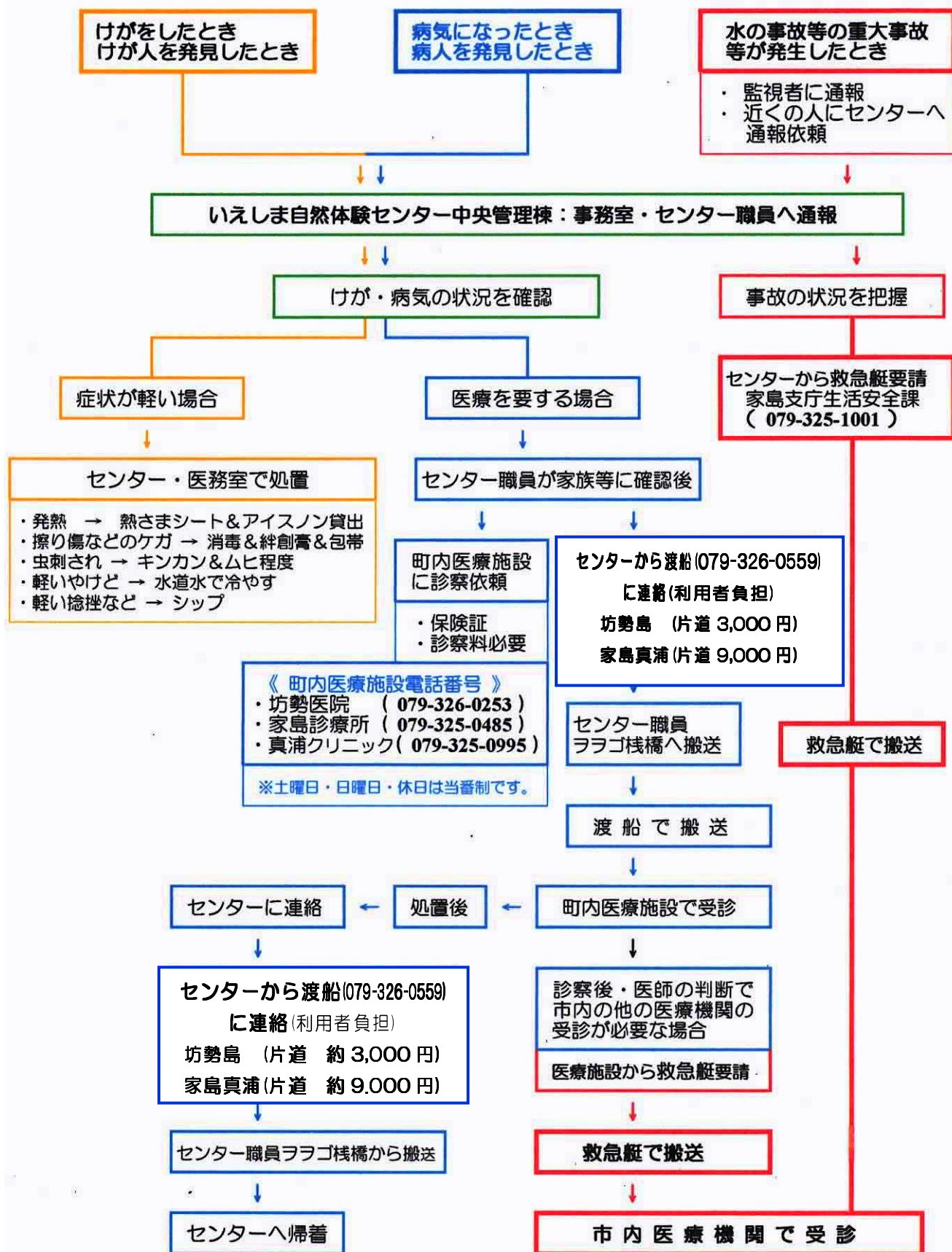
(5)姫路港付近の駐車関係略図

- 個人用の乗用車を姫路港付近で駐車される場合には、地図を参考にして駐車してください。
- 夏季の土日などは付近駐車場が満車になることもあります。余裕をもってお越しください。



F. 健康・安全について

(1) いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル



☆ いえしま自然体験センター：姫路市家島町西島 TEL (079-327-1508 / 1509) ☆

当センターは「兵庫県南部ドクターヘリ臨時発着場」に指定されています。

(2)救急医療関連 連絡先一覧

救急医療連絡先

会社／機関	名称	住所／診察時間	電話番号
家島町 医療機関	ぼうぜ医院	姫路市家島町坊勢754 【診察時間】 9:00～12:00／15:00～17:00 ※受付は終了30分前まで ※木曜日・土曜日の午後は休診 【医師宿直】第1週の土・日のみ	079-326-0253
	家島診療所	姫路市家島町宮2169 【診察時間】 9:00～12:00／14:00～17:00 ※受付は終了1時間前まで ※土曜日は休診 【医師宿直】第2・3週の土・日のみ	079-325-0485
	真浦クリニック	姫路市家島町真浦字片山2379-1 【診察時間】 月9:00～12:00／14:30～17:30 火9:00～12:00（午後は休診） 水9:00～12:00／14:00～17:30 木9:00～12:00／14:30～17:30 金9:00～12:00／14:30～17:30 土9:50～12:00（午後は休診） ※土曜日（午前）は整形のみ 【医師宿直】第4週の土・日のみ	079-325-0995 受付 7:55～11:45 ／13:55～17:15 水の受付 午後のみ14:40～17:30
姫路市 医療機関	新日鐵広畑病院	姫路市広畑夢前3-1	079-236-1038
	姫路医療センター	姫路市本町68	079-225-3211
	姫路赤十字病院	姫路市下手野1-21-1	079-294-2251
	神野病院	姫路市飾磨区玉池1-1	079-235-5501
	姫路中央病院	姫路市飾磨区三宅2-36	079-235-7331
救急艇	家島支所	姫路市家島町真浦2137-1	079-325-1001
渡船会社 (海上タクシー)	坊勢渡船	姫路市家島町坊勢	079-326-0559

【渡船代】

	坊勢まで(片道)	家島本島まで(片道)	姫路(相生)港まで
いえしま自然体験 センター棧橋から	¥3,000円	¥9,000円	¥20,000円

※上記の金額は、料金目安です。

詳しくは各船会社にお問い合わせください。

※22時以降は割増料金となります。

23時以降は緊急な処置を必要とする場合以外は船が出ません。

いえしま自然体験センター

姫路市家島町西島

(電話) 079-327-1508

079-327-1509

(FAX) 079-327-1461

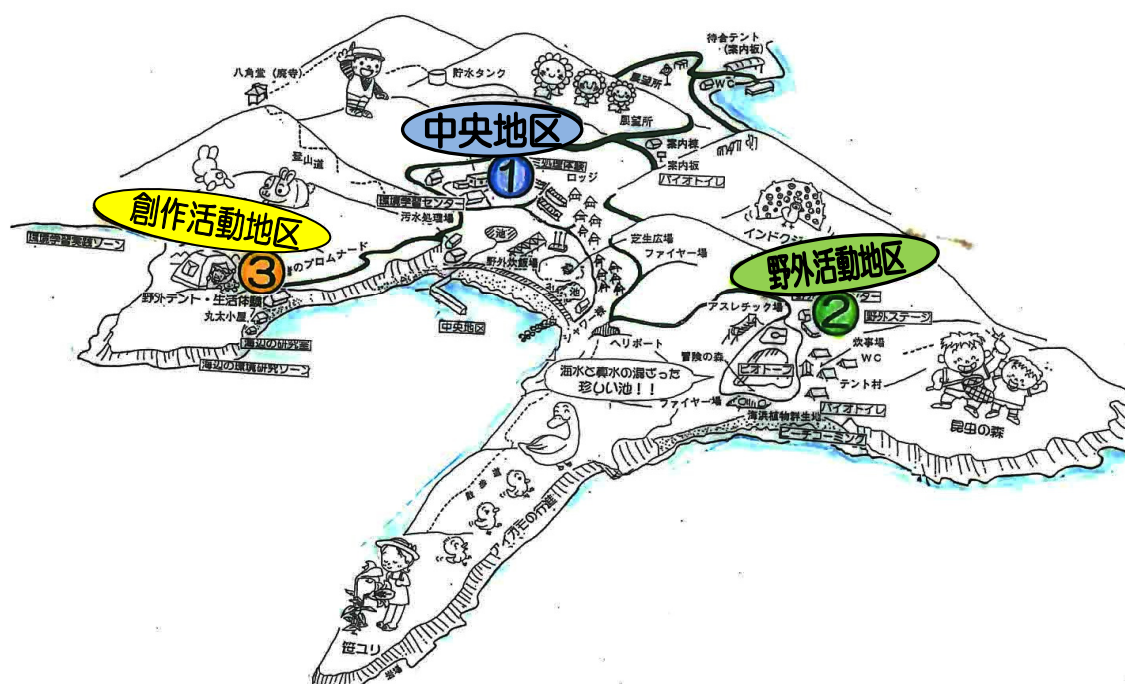
(3)地震・津波発生時の避難マニュアル

兵庫県立いえしま自然体験センター地震・津波発生時の避難マニュアル

地震（じしん）・津波（つなみ）から身を守るために

- ◇ 揺れを感じたら、**海浜からできるだけ遠くの高い場所に避難しましょう。**
- ◇ 地震が発生すると「いえしま自然体験センター」全体に**非常放送**をします。
- ◇ 津波警報や 注意報が発令されたときは、**放送をよく聞いて**
下記の 避難場所へ 落ち着いて 避難してください。

現在地（いまいるところ）	避難場所（にげるところ）	地図上番号
中央地区（ロッジ地区）	ちゅうおうかんりとう しょくどう 中央管理棟：食堂	①
野外活動地区（テント地区）	ひなんかんりとう 避難管理棟	②
創作活動地区（研究地区）	うみべ けんきゅうとう にしがわたかだい 海辺の研究棟：西側高台	③



※当センターでは地震・津波等の情報をいち早くキャッチする警報装置システムを導入しており、大きな地震が発生した場合、緊急放送を行います。

* 緊急の避難を要する場合

日中：緊急放送にて避難指示を行うとともに、職員が誘導いたします。

夜間：緊急放送を行うと共に担当の先生のロッジに職員が伺い、素早く児童・生徒を起床させ避難誘導を行います。

避難はセンター職員の指示に従い、迅速に人数確認を行うと共に安全確保にご協力ください。